

学校におけるハラスメントに関するアンケート調査の実施について

杉並区教育委員会では、「区立学校等におけるセクシュアル・ハラスメント等の防止に関する要綱」により、杉並区立学校におけるセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント及び妊娠、出産、育児休業等に関するハラスメント（以下「セクシュアル・ハラスメント等」という。）の防止及び排除の措置並びに問題が生じた場合の対応を規定しています。

区立学校の現在の状況の把握や教職員のハラスメントに対する意識の向上を図るため、区立学校に在籍する教職員を対象に次のとおりアンケート調査を実施しましたので、報告します。

1 実施内容

(1) 対象

区立学校の教員、栄養士、事務職員等（会計年度任用職員を含む約3,000人）

(2) 期間

令和7年7月16日（水）から9月5日（金）

(3) 結果

回答者数 704名（23.4%）

詳細は別紙「令和7年度ハラスメントに関するアンケート調査集計結果」のとおり

2 結果概要

(1) 職場の人間関係（Q1, 2）

81%が「大変良好」・「良好」と捉えているが、27%がハラスメント行為に関与（受けた・目撃した・相談を受けた）している。

(2) 被害時の対応（Q13）

非公式での相談（同僚・家族・友人への相談）が58%と主であり、公式な相談（相談窓口等への相談）は25%と少数になっている。

(3) 窓口利用時の懸念点（Q14）

半数近くが「プライバシーが守られるか」、「職場に居づらくならないか」、「異動など不利益な事態にならないか」と回答しており、被害者保護と心理的安全性の確保が求められている。

(4) 相談員等の認知度（Q19, 20）

ハラスメントに関する苦情相談を受ける相談員の認知が51%、セクシュアル・ハラスメント等防止担当者の認知が45%と相談体制の認知度が低くなっている。

(5) ハラスメント防止対策（Q21）

ハラスメント防止対策で最重要と考えるものとして「職員への研修（29%）」、「相談体制の強化（17%）」、「行為者への罰則強化（17%）」、「管理職への研修（16%）」が主に挙げられた。

3 今後の予定

(1) 相談窓口の周知

相談員、セクシュアル・ハラスメント等防止担当者、外部窓口などの多様な経路での相談が可能であることの周知を強化し、認知度向上を推進する。

(2) 被害者保護と心理的安全性の確保

匿名相談が可能であることや申告後の不利益取扱いの禁止を相談窓口の周知を行う際に明記し、被害者保護と心理的安全性の確保を図る。

(3) 研修

令和8年1月19日に学校管理職向けのハラスメント防止研修を行った。一般教員へは服務事故防止月間等での研修を行っている。今後も東京都作成の事例集等を活用した研修を継続する。

(4) ハラスメント防止の環境づくり

学校内でのハラスメント防止の環境づくりのために校内でのハラスメントを発生させないことを学校ごとに宣言し、職員室内等にポスターを掲示する。

令和7年度

ハラスメントに関するアンケート調査 集計結果

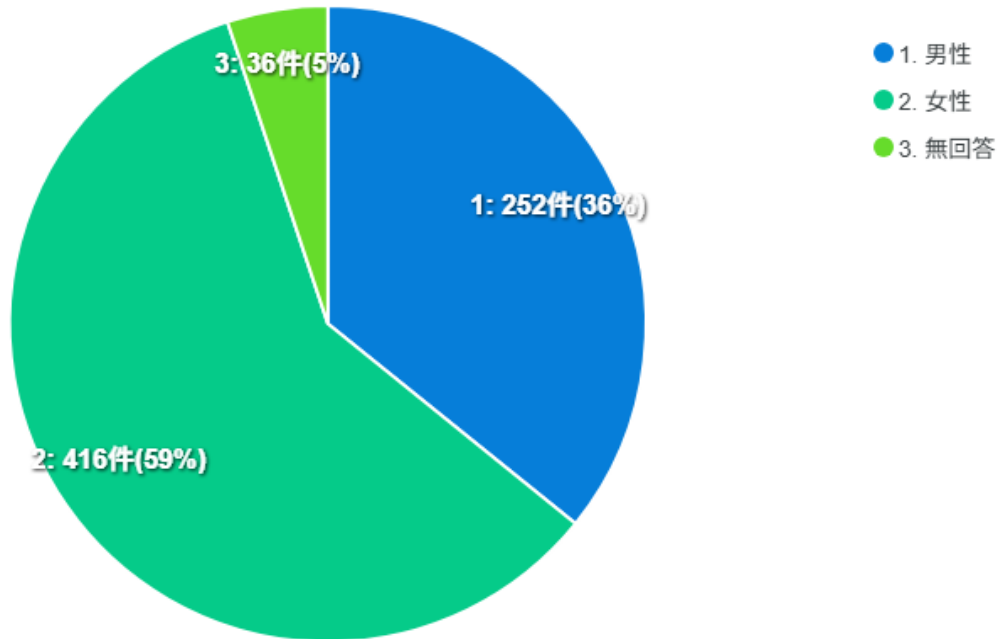
杉並区教育委員会 教育人事・指導課

項目	
調査期間	令和7年7月16日から9月5日
調査対象	区立学校の教員、栄養士、事務職員、会計年度任用職員等
対象者数	約3,000人
回答数	704件（回答率約23.4%）

性別

n=704

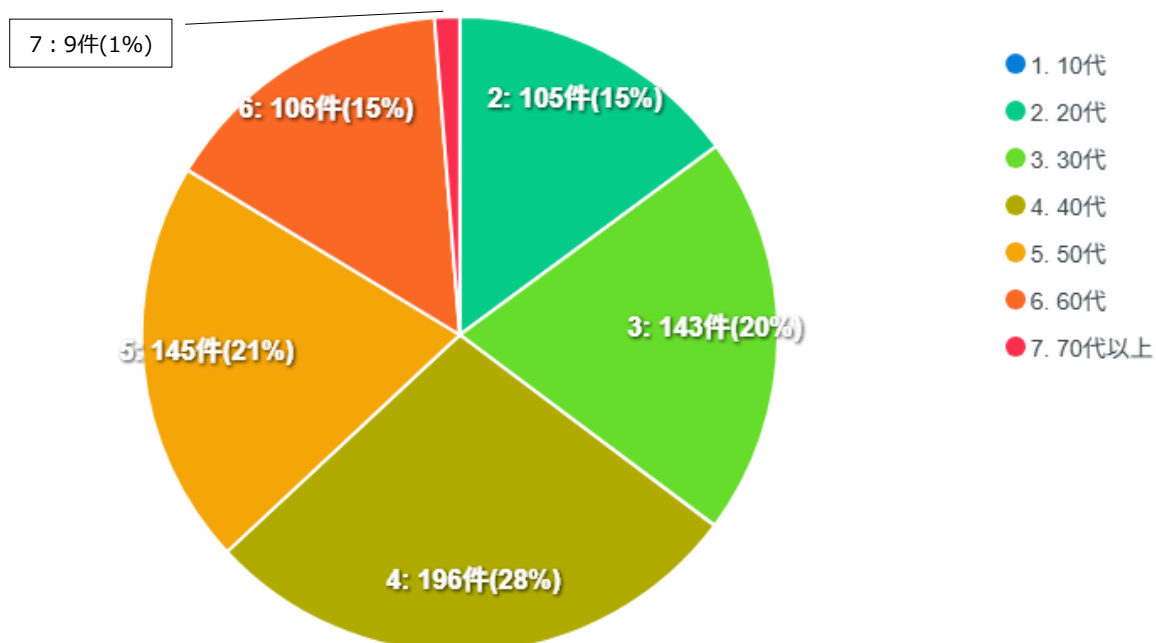
項目	回答数 (割合)
男性	252件 (36%)
女性	416件 (59%)
無回答	36件 (5%)



年齢層

n=704

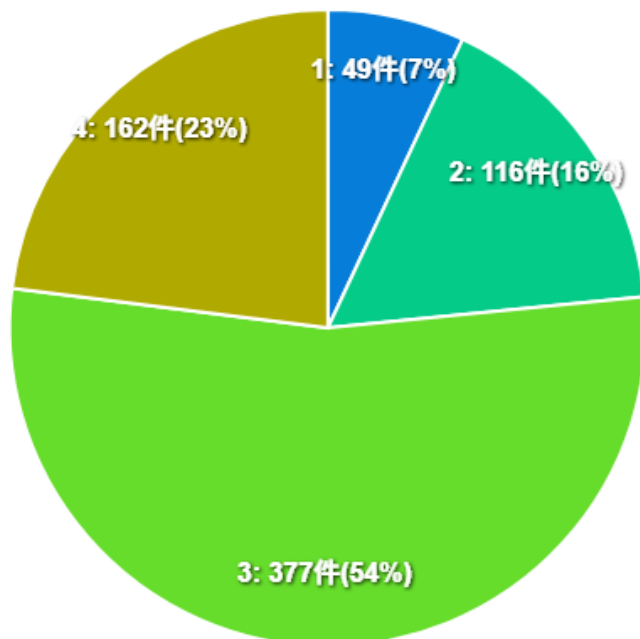
項目	回答数 (割合)
10代	0件 (0%)
20代	105件 (15%)
30代	143件 (20%)
40代	196件 (28%)
50代	145件 (21%)
60代	106件 (15%)
70代以上	9件 (1%)



職層

n=704

項目	回答数 (割合)
管理職	49件 (7%)
主幹教諭、指導教諭 (主幹養護教諭、主査、技能長を含む。)	116件 (16%)
主任教諭、教諭 (主任養護教諭、主任栄養教諭、主任、技能主任、養護教諭、栄養教諭、主事、一般職員を含む。)	377件 (54%)
会計年度任用職員	162件 (23%)



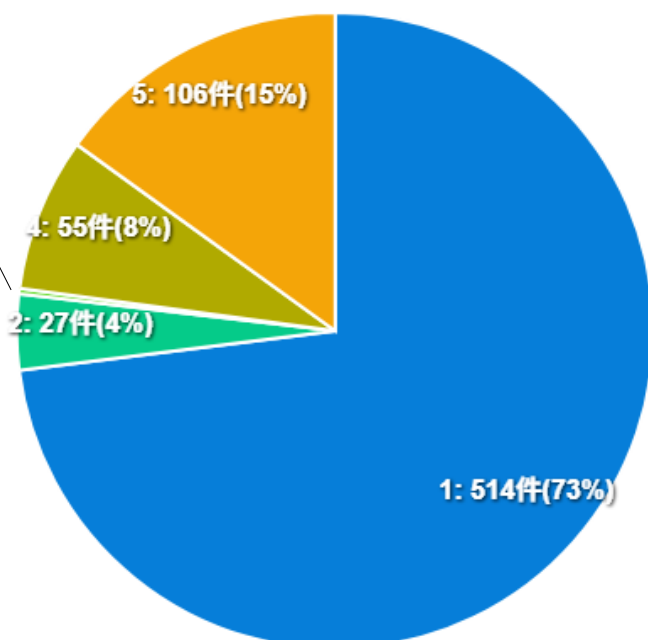
- 1. 管理職
- 2. 主幹教諭、指導教諭 (主幹養護教諭、主査、技能長を含む。)
- 3. 主任教諭、教諭 (主任養護教諭、主任栄養教諭、主任、技能主任、養護教諭、栄養教諭、主事、一般職員を含む。)
- 4. 会計年度任用職員

職種

(会計年度任用職員で教員免許が必要な職種は「会計年度任用職員 (教員系)」
不要な職種は「会計年度任用職員 (教員系以外)」)

n=704

項目	回答数 (割合)
教員系 (養護教諭、栄養教諭を含む。)	514件 (73%)
行政系 (事務、栄養士)	27件 (4%)
技能系 (用務、調理、警備)	2件 (1%以下)
会計年度任用職員 (教員系)	55件 (8%)
会計年度任用職員 (教員系以外)	106件 (15%)

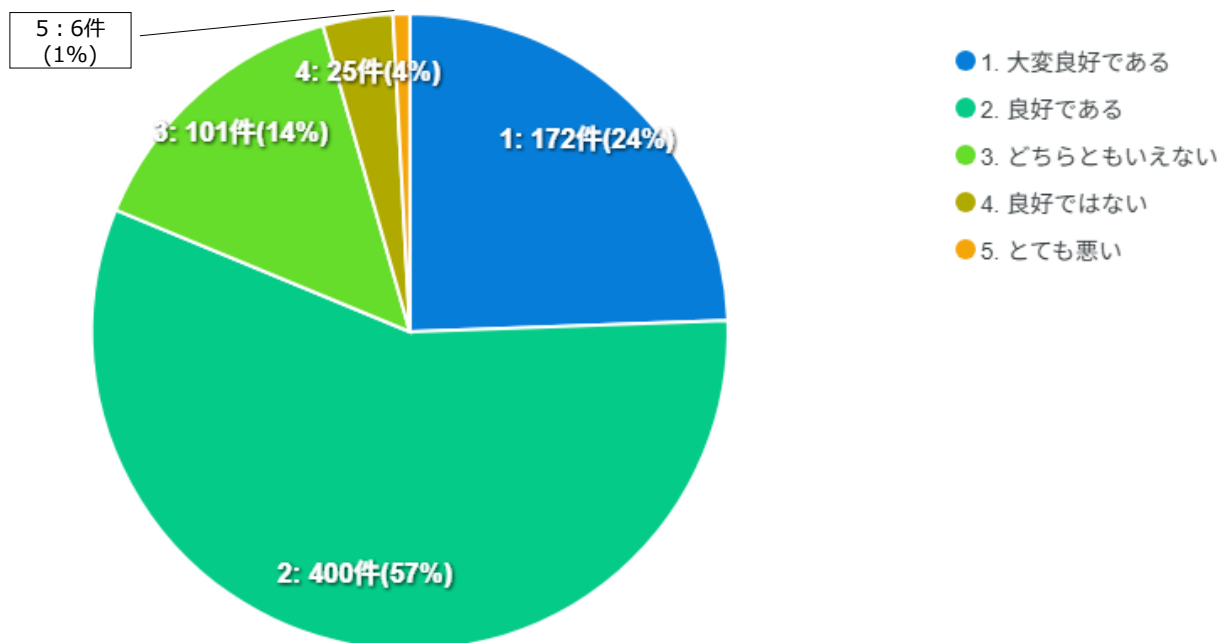


- 1. 教員系 (養護教諭、栄養教諭を含む。)
- 2. 行政系 (事務、栄養士)
- 3. 技能系 (用務、調理、警備)
- 4. 会計年度任用職員 (教員系)
- 5. 会計年度任用職員 (教員系以外)

Q1：現在の職場の人間関係について、どのように感じていますか。

n=704

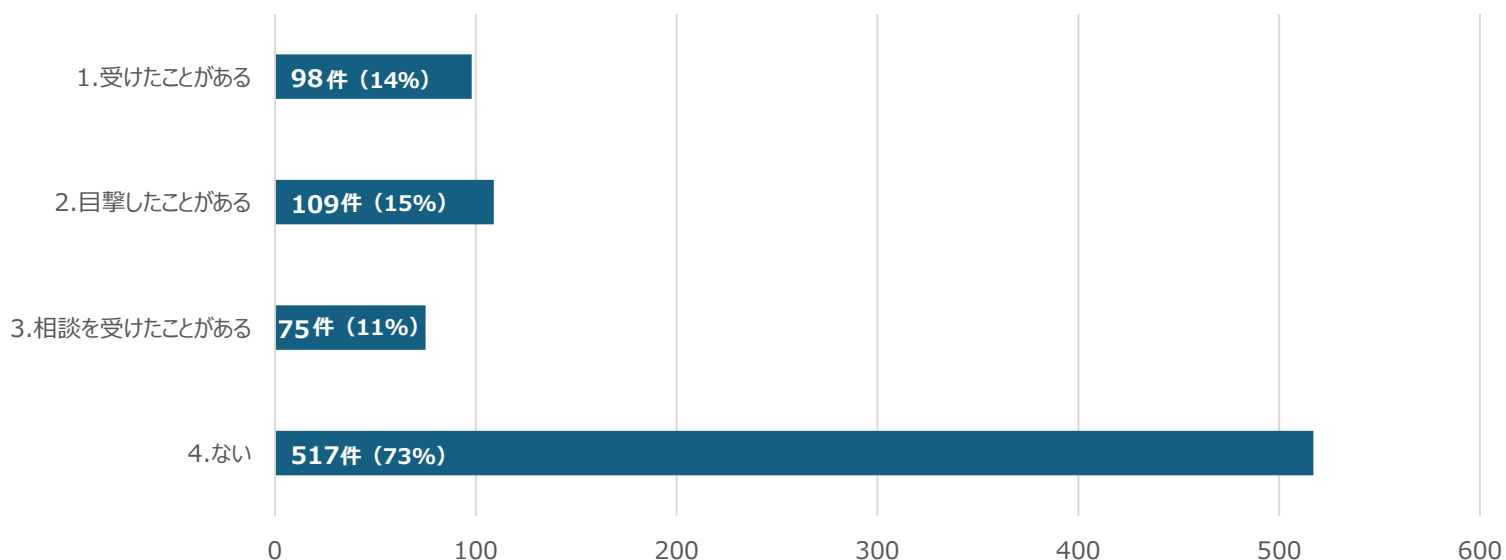
項目	回答数（割合）
大変良好である	172件（24%）
良好である	400件（57%）
どちらともいえない	101件（14%）
良好ではない	25件（4%）
とても悪い	6件（1%）



Q2：現任校において、あなたはハラスメント行為を受けたり、見聞きしたことがありますか。（複数回答可）

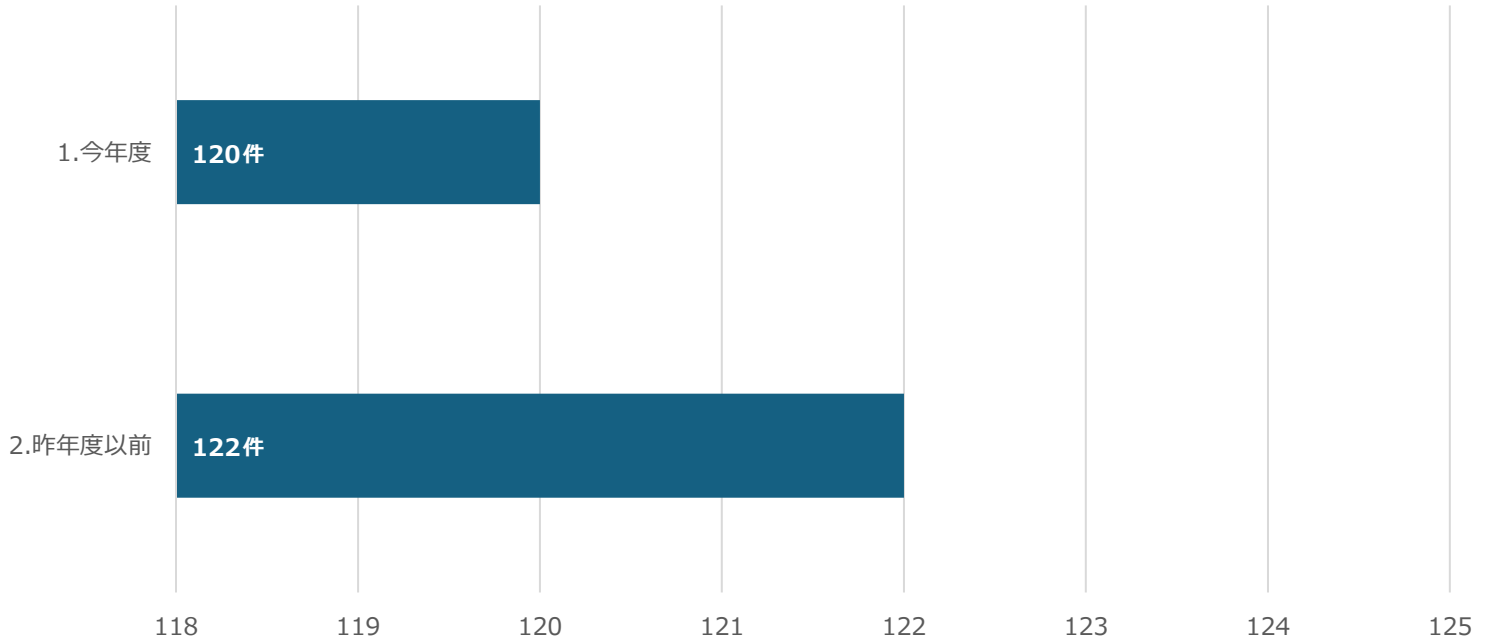
n=704

項目	回答数（割合）
受けたことがある	98件（14%）
目撃したことがある	109件（15%）
相談を受けたことがある	75件（11%）
ない	517件（73%）



Q3 : Q2で「受けたことがある」「目撃したことがある」「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。それはいつですか。(複数回答可)

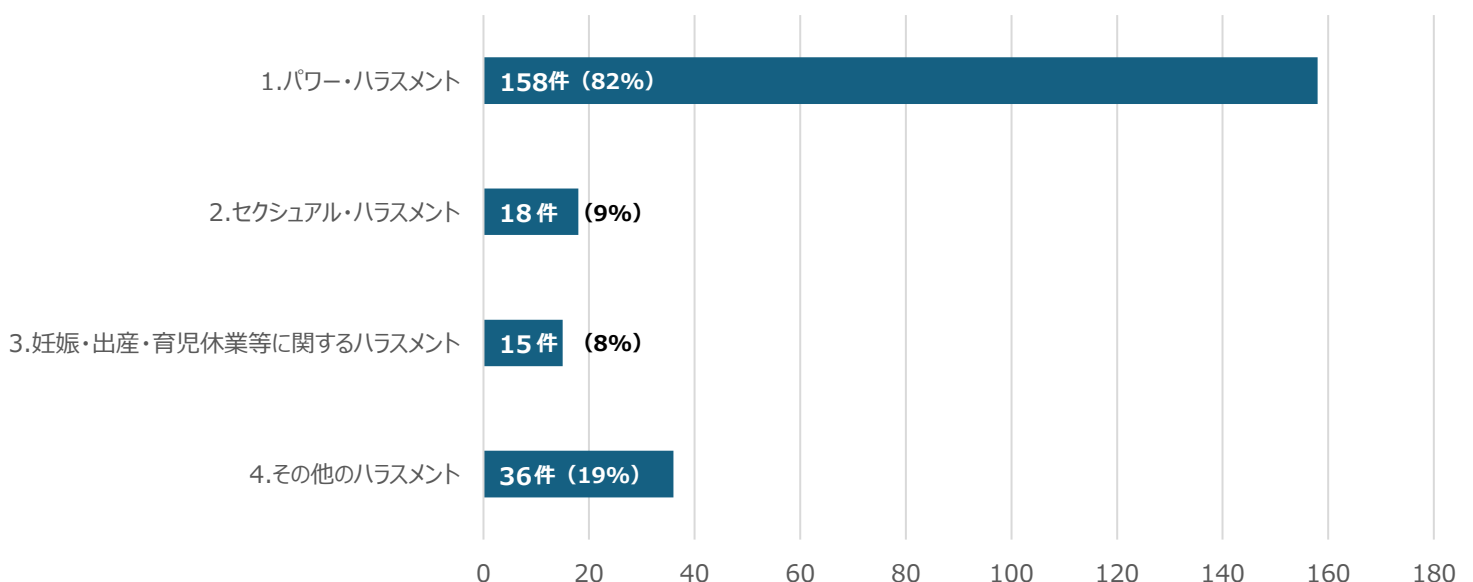
項目	回答数
今年度	120件
昨年度以前	122件



Q4 : Q3で「受けたことがある」「目撃したことがある」「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。ハラスメントの種類は何ですか。(複数回答可)

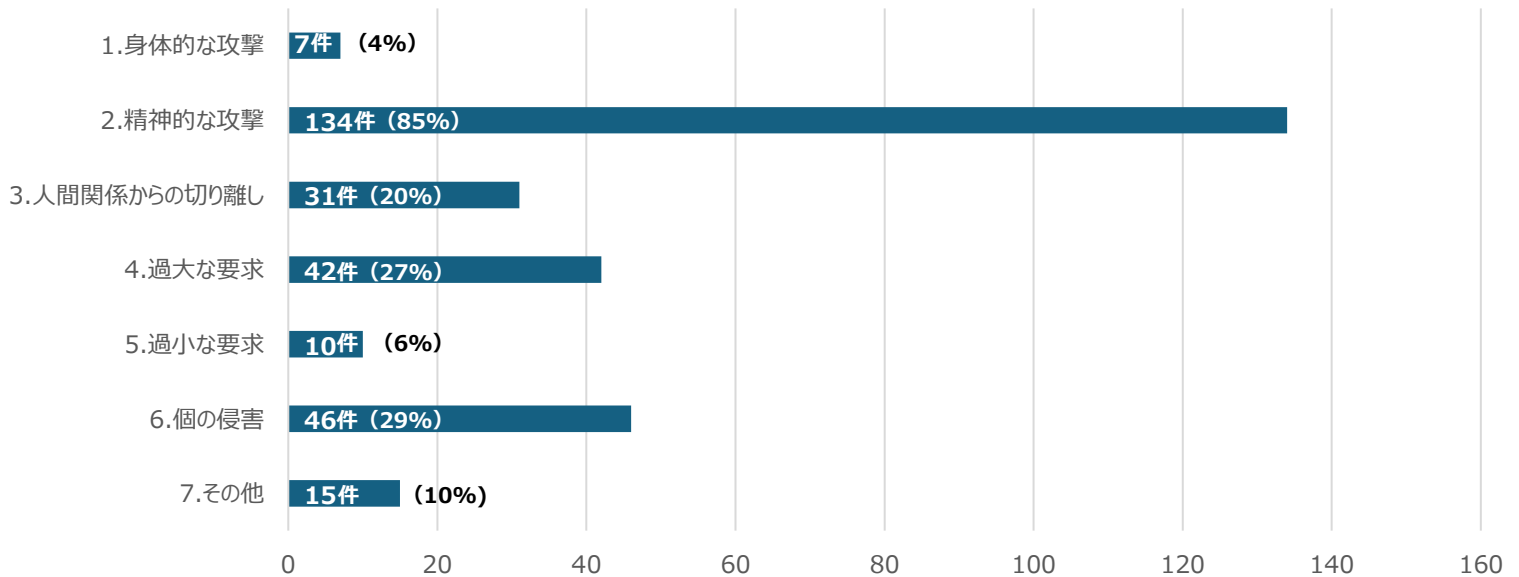
n=192

項目	回答数 (割合)
パワー・ハラスメント	158件 (82%)
セクシュアル・ハラスメント	18件 (9%)
妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント	15件 (8%)
その他のハラスメント	36件 (19%)



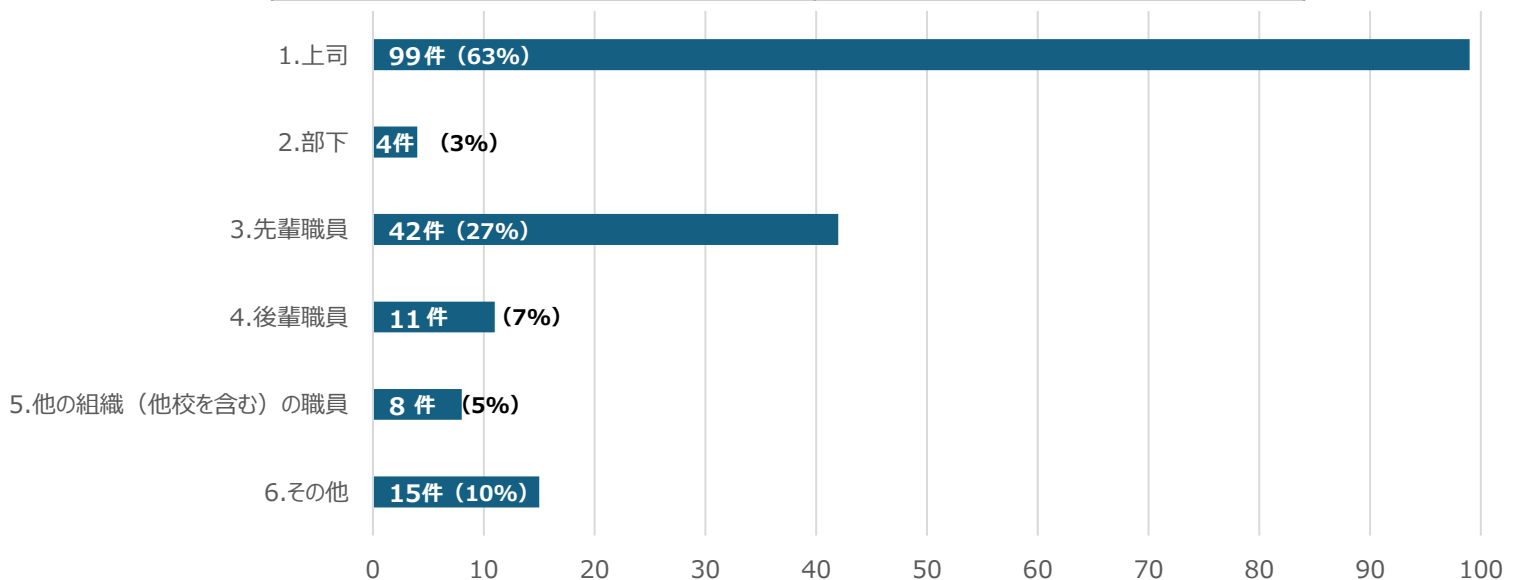
Q5 : Q4で「パワー・ハラスメント」と答えた方にお聞きします。
 該当する類型は何ですか。（複数回答可） n=158

項目	回答数（割合）
身体的な攻撃	7件（4%）
精神的な攻撃	134件（85%）
人間関係からの切り離し	31件（20%）
過大な要求	42件（27%）
過小な要求	10件（6%）
個の侵害	46件（29%）
その他	15件（10%）



Q6 : Q5で回答したハラスメント行為を行ったのは誰ですか。（複数回答可）

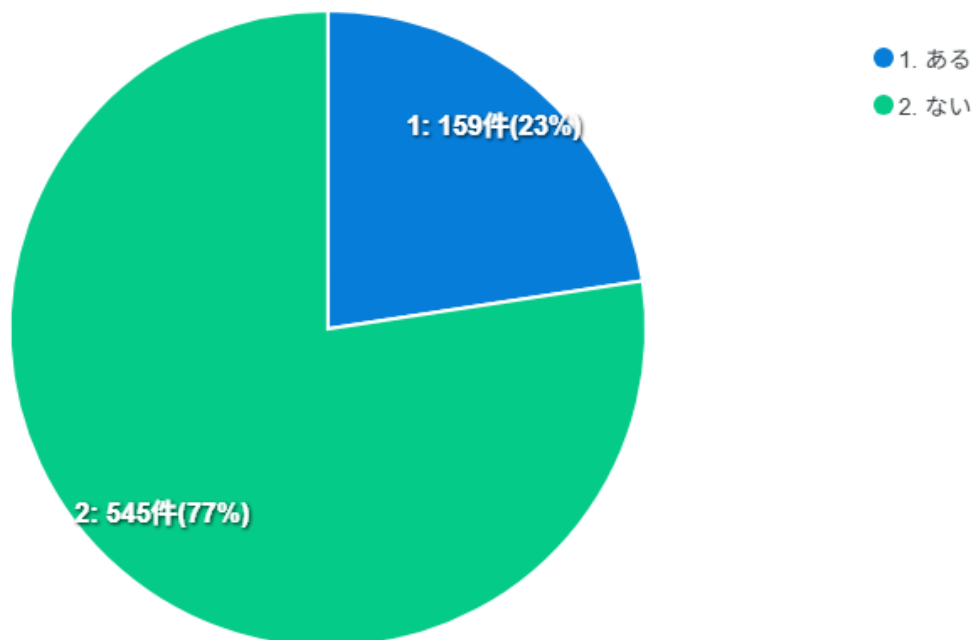
項目	回答数（割合）
上司	99件（63%）
部下	4件（3%）
先輩職員	42件（27%）
後輩職員	11件（7%）
他の組織（他校を含む）の職員	8件（5%）
その他	15件（10%）



Q7：パワハラと受け止められることを恐れ、必要な指導を躊躇(ちゅうちょ)したことがありますか。

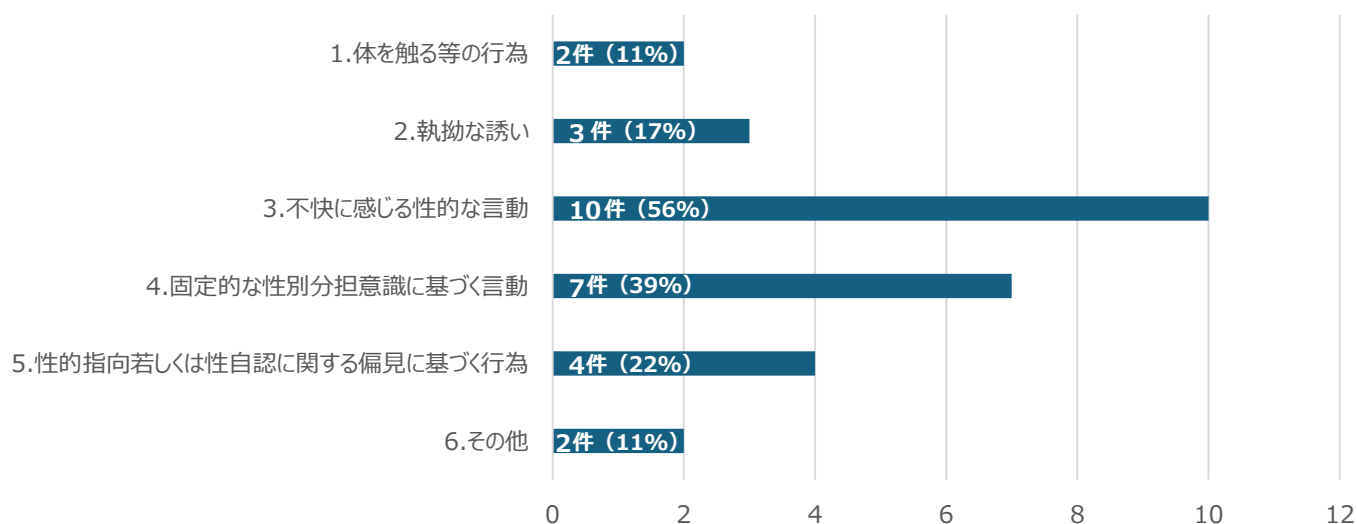
(部下に対する者だけでなく、後輩職員への指導も含みます。)

項目	回答数 (割合)	n=704
ある	159件 (23%)	
ない	545件 (77%)	



Q8：Q4で「セクシュアル・ハラスメント」と答えた方にお聞きします。ハラスメントの内容に近いものを選択してください。(複数回答可)

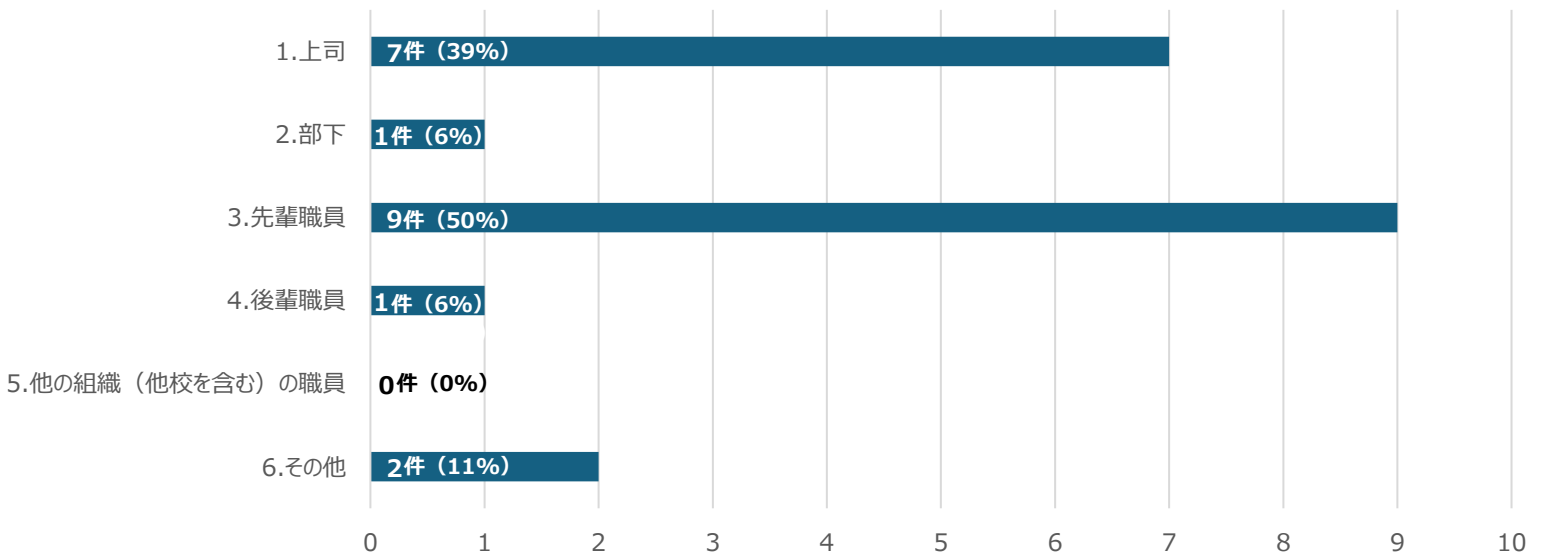
項目	回答数 (割合)	n=18
体を触る等の行為	2件 (11%)	
執拗な誘い	3件 (17%)	
不快に感じる性的な言動	10件 (56%)	
固定的な性別分担意識に基づく言動	7件 (39%)	
性的指向若しくは性自認に関する偏見に基づく行為	4件 (22%)	
その他	2件 (11%)	



Q9：Q8で回答したハラスメント行為を行ったのは誰ですか。（複数回答可）

項目	回答数（割合）
上司	7件（39%）
部下	1件（6%）
先輩職員	9件（50%）
後輩職員	1件（6%）
他の組織（他校を含む）の職員	0件（0%）
その他	2件（11%）

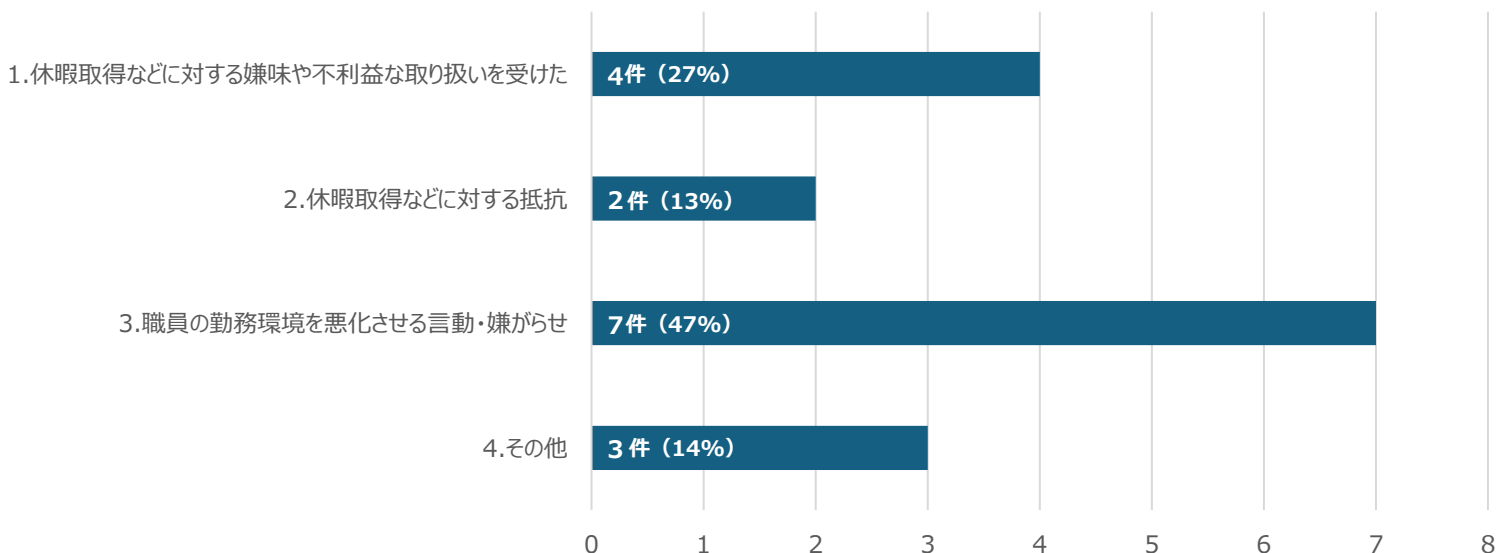
n=18



Q10：Q4で「妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント」と答えた方にお聞きします。ハラスメントの内容に近いものを選択してください。（複数回答可）

項目	回答数（割合）
休暇取得などに対する嫌味や不利益な取り扱いを受けた	4件（27%）
休暇取得などに対する抵抗	2件（13%）
職員の勤務環境を悪化させる言動・嫌がらせ	7件（47%）
その他	3件（14%）

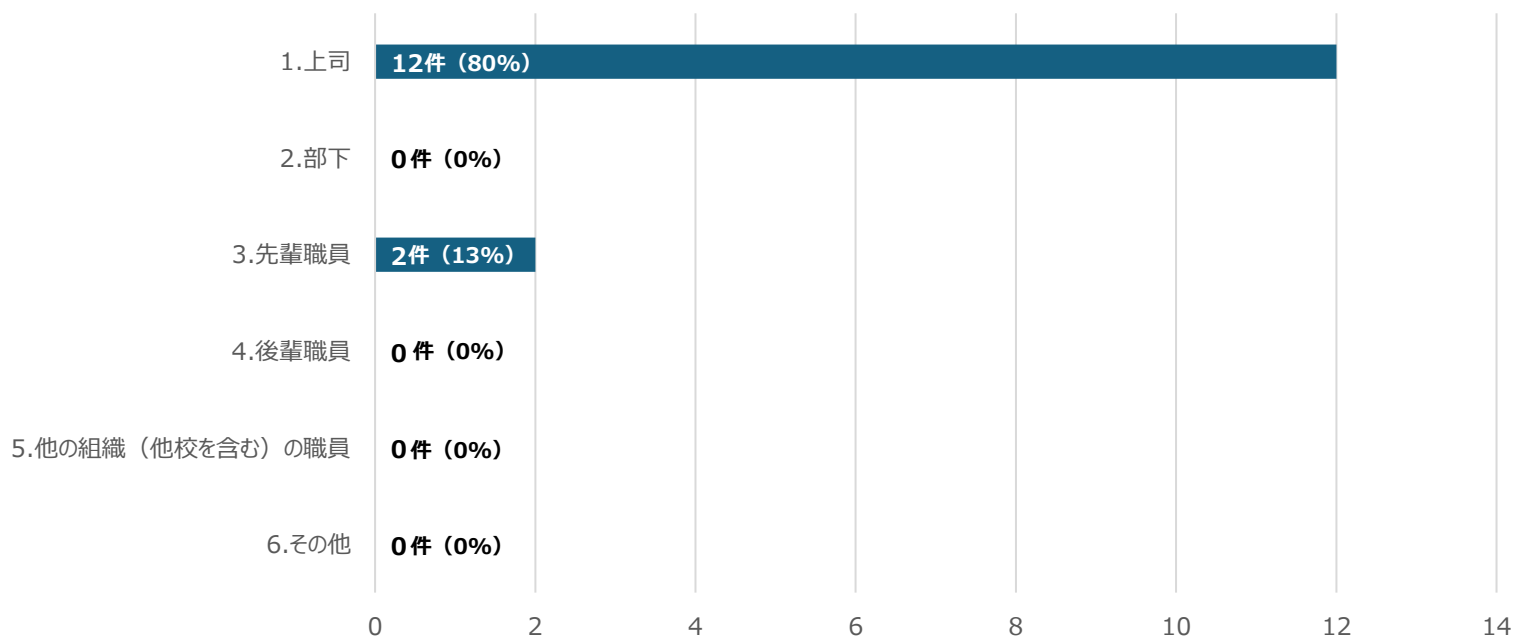
n=15



Q1 1 : Q1 0で回答したハラスメント行為を行ったのは誰ですか。
(複数回答可)

n=15

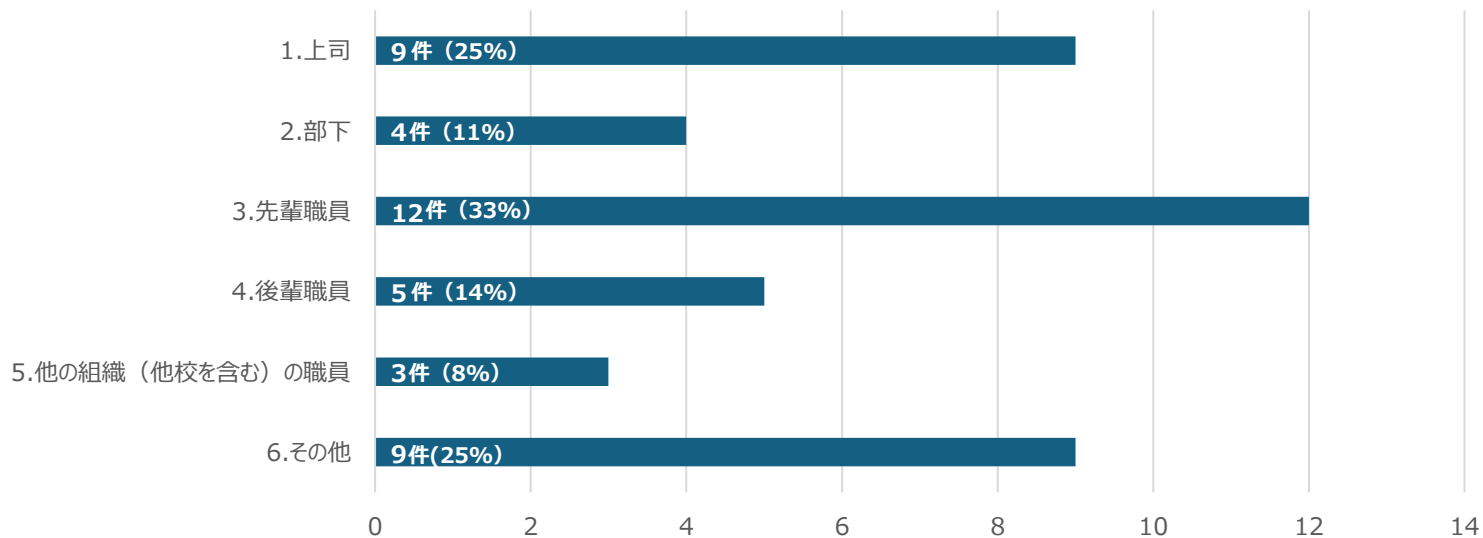
項目	回答数 (割合)
上司	12件 (80%)
先輩職員	2件 (13%)
部下、後輩職員、他の組織 (他校を含む) の職員、その他	0件 (0%)



Q1 2 : Q4で「その他のハラスメント」と答えた方にお聞きします。
ハラスメント行為を行ったのは誰ですか。(複数回答可)

n=36

項目	回答数 (割合)
上司	9件 (25%)
部下	4件 (11%)
先輩職員	12件 (33%)
後輩職員	5件 (14%)
他の組織 (他校を含む) の職員	3件 (8%)
その他	9件 (25%)

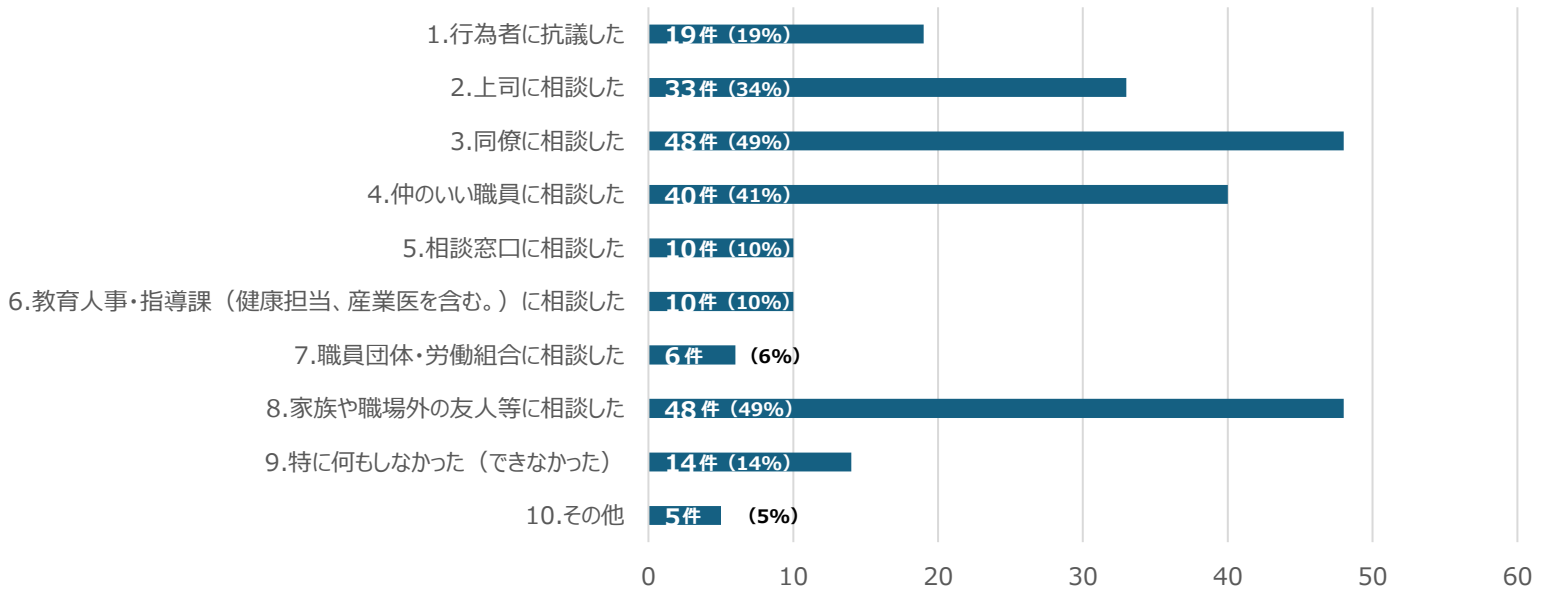


Q1 3 : Q2 で「受けたことがある」と回答した方にお聞きします。ハラスメントを受けたとき、どのように対応しましたか。（複数回答可）

n=98

項目	回答数（割合）
行為者に抗議した	19件（19%）
上司に相談した	33件（34%）
同僚に相談した	48件（49%）
仲のいい職員に相談した	40件（41%）
相談窓口相談した	10件（10%）

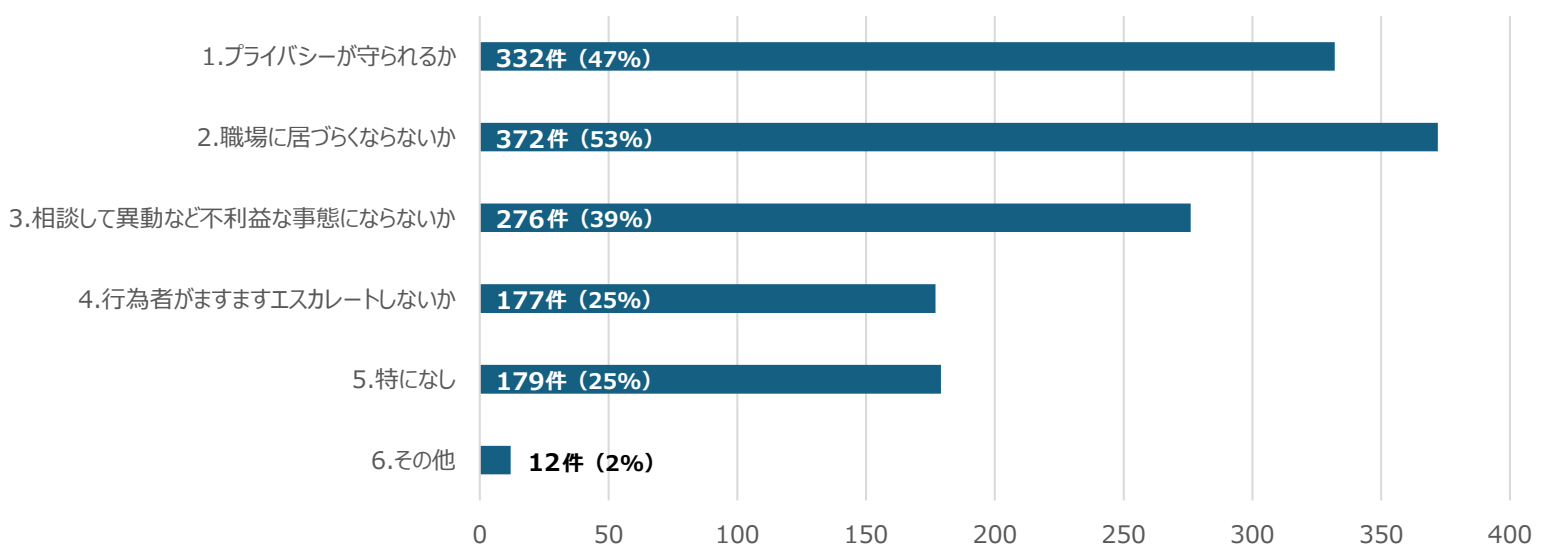
項目	回答数（割合）
教育人事・指導課（健康担当、産業医を含む。）に相談した	10件（10%）
職員団体・労働組合に相談した	6件（6%）
家族や職場外の友人等に相談した	48件（49%）
特に何もしなかった（できなかった）	14件（14%）
その他	5件（5%）



Q1 4 : あなたがハラスメントを受けた場合、相談窓口を利用する場合に心配なことはありますか。（複数回答可）

n=704

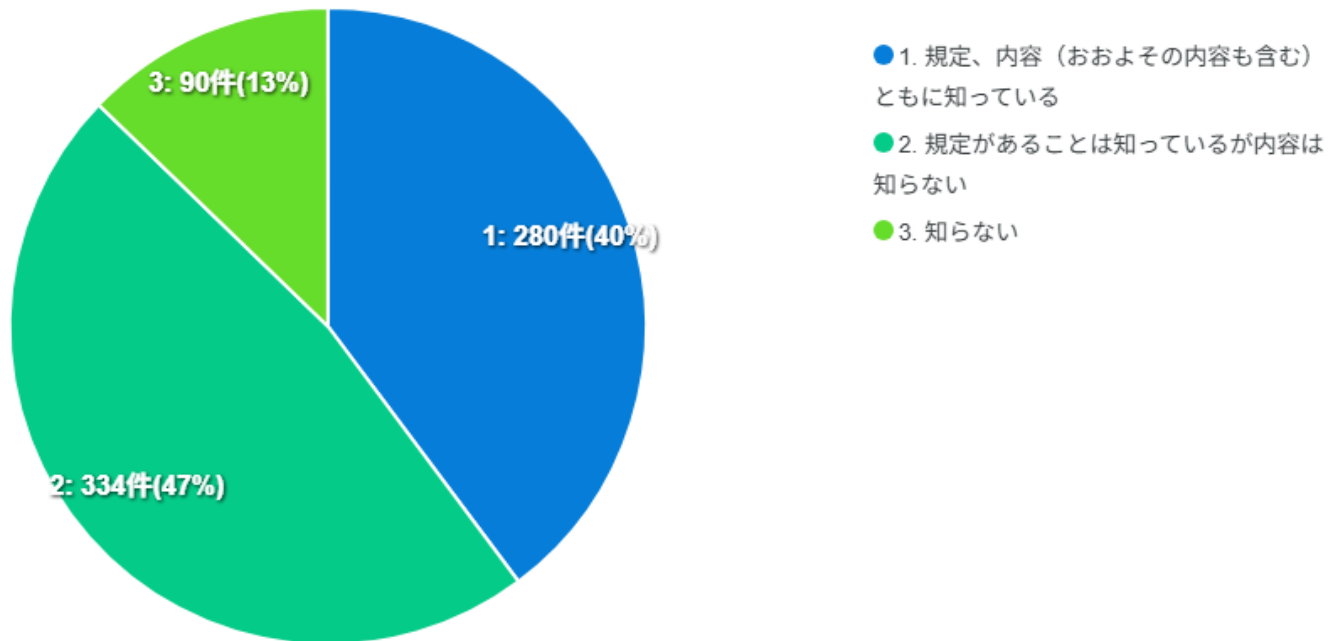
項目	回答数（割合）
プライバシーが守られるか	332件（47%）
職場に居づらくならないか	372件（53%）
相談して異動など不利益な事態にならないか	276件（39%）
行為者がますますエスカレートしないか	177件（25%）
特になし	179件（25%）
その他	12件（2%）



Q15：あなたは、杉並区立学校におけるセクシュアル・ハラスメント等の防止等に関する規定を知っていますか

n=704

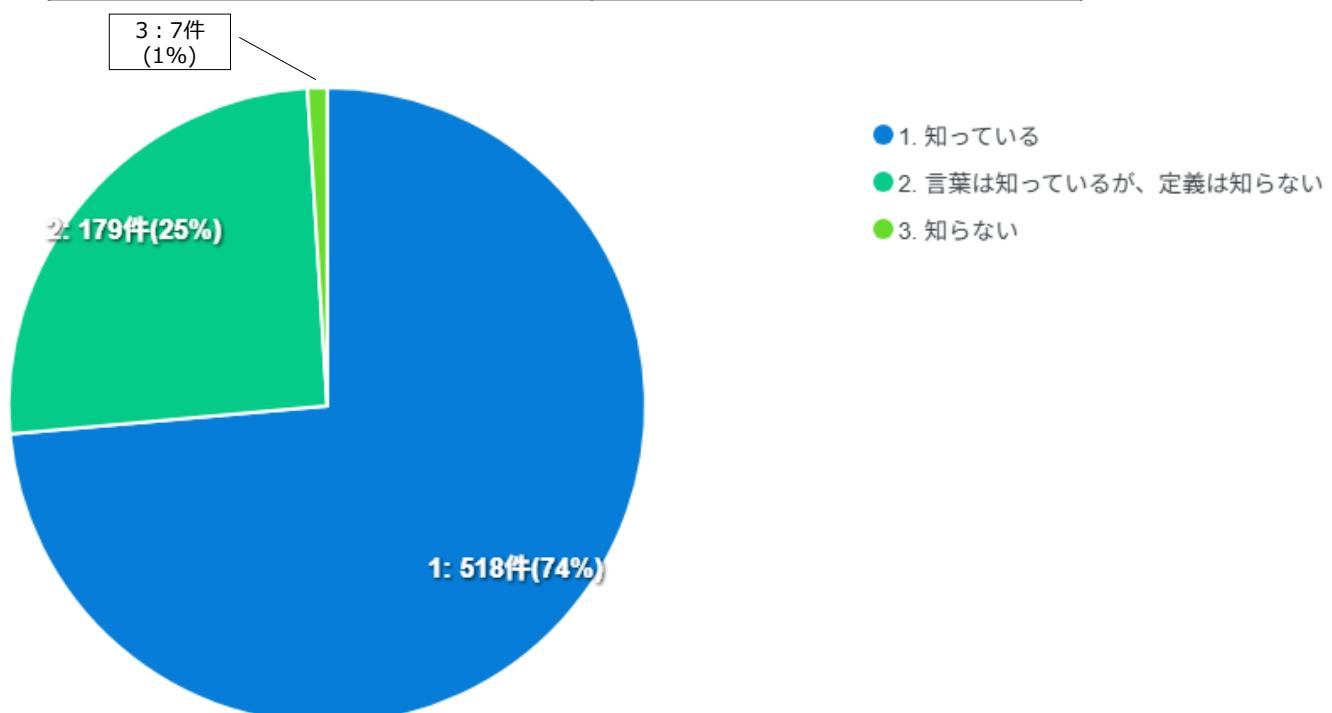
項目	回答数（割合）
規定、内容（おおよその内容も含む）ともに知っている	280件（40%）
規定があることは知っているが内容は知らない	334件（47%）
知らない	90件（13%）



Q16：パワー・ハラスメントの定義を知っていますか

n=704

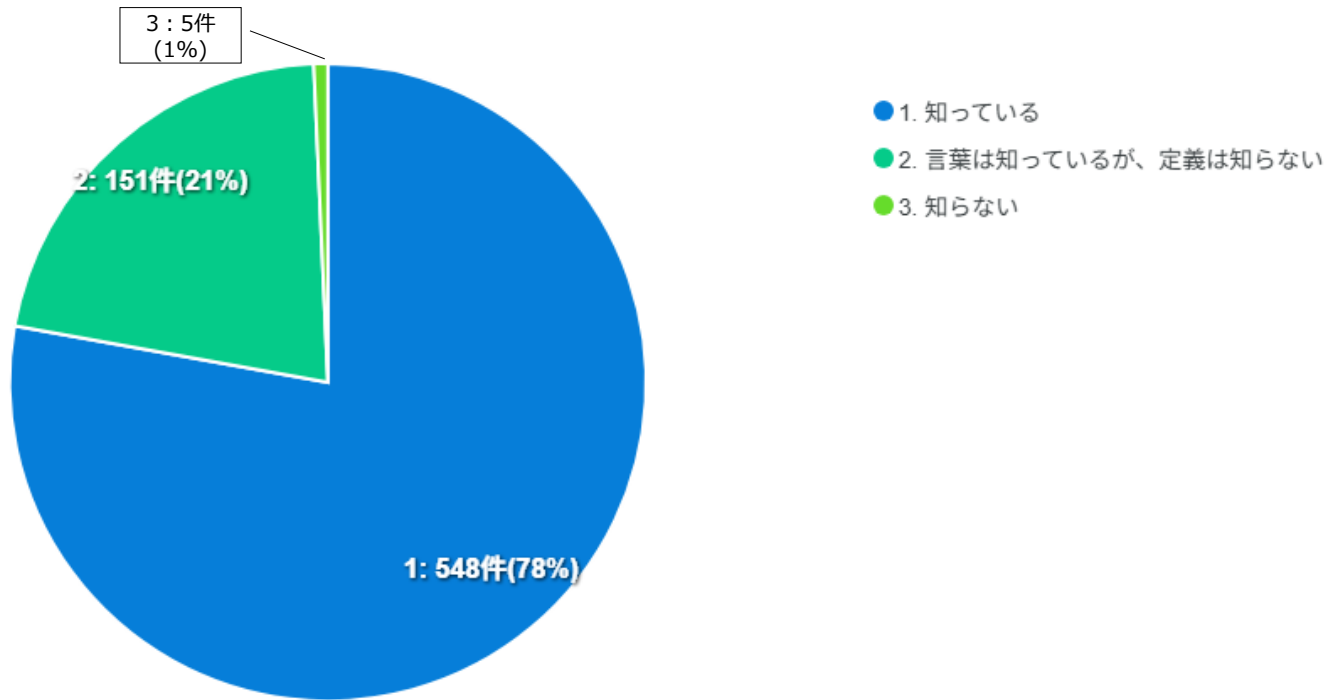
項目	回答数（割合）
知っている	518件（74%）
言葉は知っているが、定義は知らない	179件（25%）
知らない	7件（1%）



Q 1 7 : セクシュアル・ハラスメントの定義を知っていますか

n=704

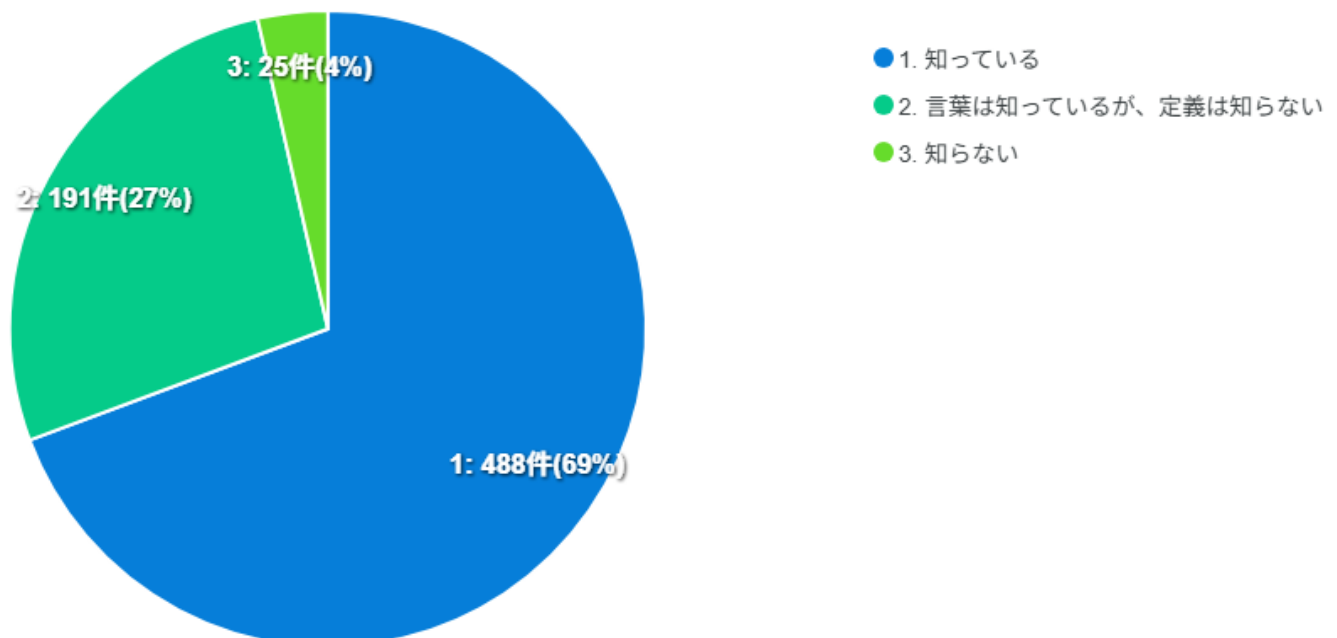
項目	回答数 (割合)
知っている	548件 (78%)
言葉は知っているが、定義は知らない	151件 (21%)
知らない	5件 (1%)



Q 1 8 : 妊娠、出産、育児休業等に関するハラスメントの定義を知っていますか

n=704

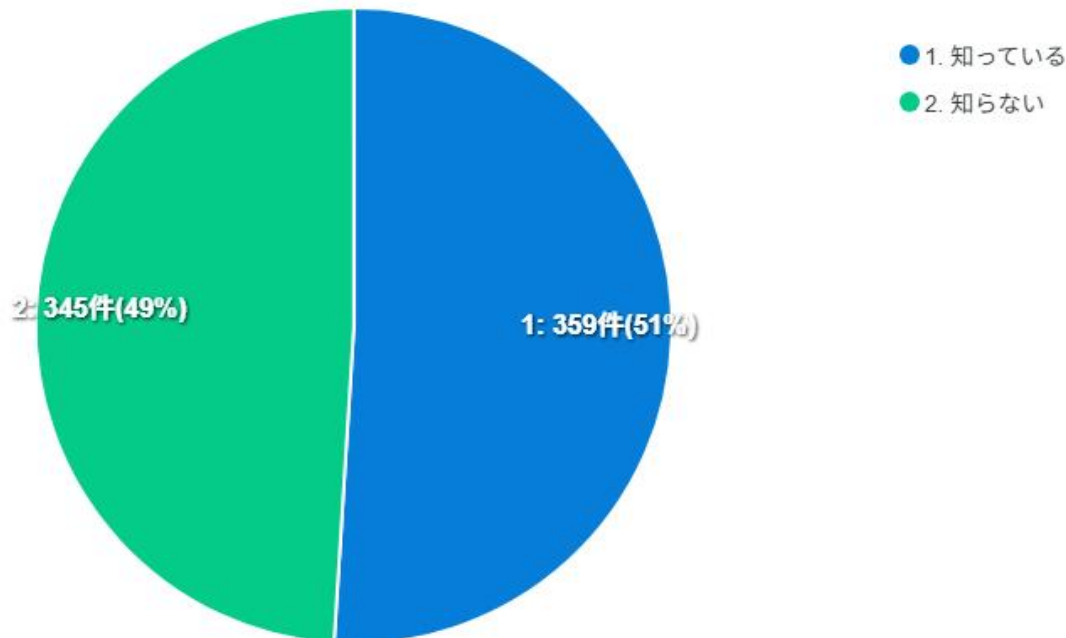
項目	回答数 (割合)
知っている	488件 (69%)
言葉は知っているが、定義は知らない	191件 (27%)
知らない	25件 (4%)



Q19：ハラスメントに関する苦情相談を受けるため「相談員」を設置していますが、相談員が設置されていることを知っていますか。

n=704

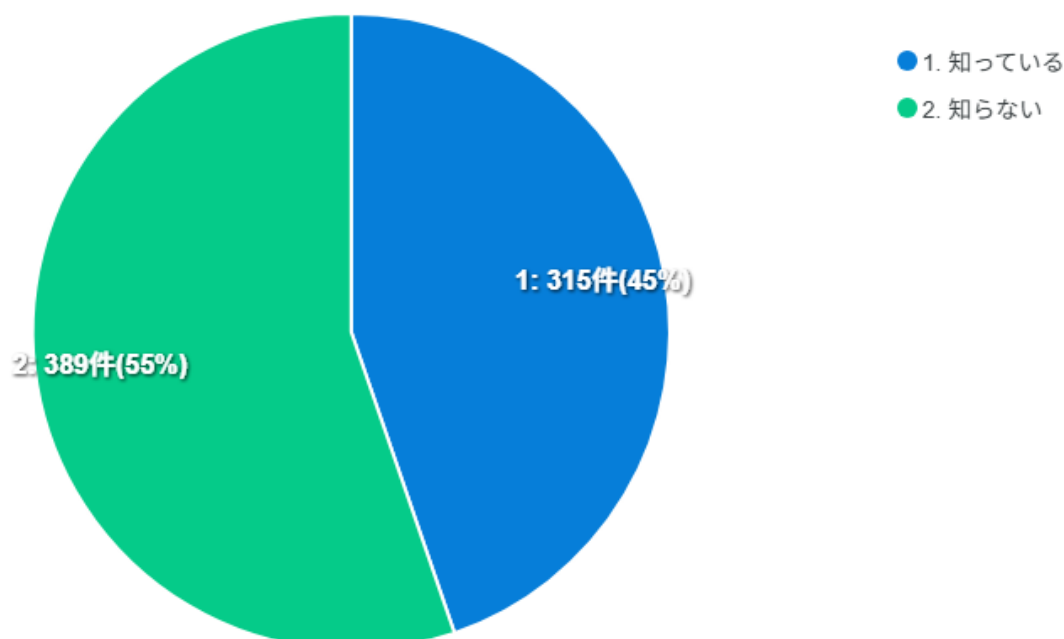
項目	回答数（割合）
知っている	359件（51%）
知らない	345件（49%）



Q20：ハラスメントの防止を推進するため「セクシュアル・ハラスメント等防止担当者」を設置していますが、防止担当者が設置されていることを知っていますか。

n=704

項目	回答数（割合）
知っている	315件（45%）
知らない	389件（55%）



Q2 1 : ハラスメント防止対策として、最重要と考えるものは何ですか。
(1つのみ選択可)

n=704

項目	回答数 (割合)
チラシ・パンフレットによる周知	34件 (5%)
職員への研修	201件 (29%)
管理職への研修	112件 (16%)
相談体制の強化	120件 (17%)
外部相談窓口の設置	88件 (13%)
行為者への罰則強化	118件 (17%)
その他	31件 (4%)

